

# 自己評価結果報告書

令和 8年 2月27日

大分県障害福祉課長 様

所在地 大分県大分市大津町2丁目1番41号  
法人名 社会福祉法人 大分県社会福祉事業団  
代表者 職・氏名 理事長 銅城 義則

## 1. 事業所の状況

事業所の名称	地域総合支援センター どんぐり河内	
事業の種別	児童発達支援	
事業所番号	4450900065	
指定年月日	2021/1/1	
連絡先	担当者名	坂本 久美子
	TEL	0978-25-6626
	E-mail	<a href="mailto:donguri-k@gaea.ocn.ne.jp">donguri-k@gaea.ocn.ne.jp</a>

## 2. 取組時期

①保護者による評価	令和 8年 1月 9日 ~ 令和 8年 1月26日
②職員による評価	令和 8年 1月 9日 ~ 令和 8年 1月26日
③事業所全体による評価	令和 8年 2月 18日

## 3. 公表結果

公表日	令和 8年 2月 27日
公表の方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページ
	URL : <a href="http://www.oitaswo.jp">http://www.oitaswo.jp</a>
	<input type="checkbox"/> 紙媒体を掲示の上、保護者へ配布

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	地域総合支援センター どんぐり河内（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	令和8年1月9日		～ 令和8年1月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2家族	(回答者数) 2家族
○従業者評価実施期間	令和8年1月9日		～ 令和8年1月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月18日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご利用されている児童が1～2名であり、少人数での関わりで丁寧な個別療育を提供することができる。	個々のニーズや課題に対し、必要に応じてセラピスト（PT、OT、ST）の助言を受け、個別療育につなげている。	多職種協働の支援を充実させるためのネットワーク作りを検討していきたい。
2	広い園庭や遊戯室があり、心身の発達や体力の強化に活かすことができる。 畑で野菜を栽培し、調理実習を行うことで、食育につなげることができる。 運動活動に取り組み、放課後等デイサービスに移行後は、各種陸上大会に出場することができる。	感覚統合遊具やアスレチックを整備し、必要な刺激を統制しながら、体幹トレーニングを中心とした運動活動に取り組んでいる。 野菜を栽培することで、作物を育てることの大変さや喜びを体験し、食べることへの関心と感謝の気持ちを育んでいる。	研修に積極的に参加し、様々なアプローチを習得することで、個別療育の充実を図っていきたい。
3	地域資源を活用した活動や様々な行事を企画し、多様な体験を提供することができる。	季節に応じた行事やふれあい教室など、こどもも大人も楽しめる活動を実施している。	地域との交流を大切にし、地域の方の協力を得ながら、行事や防災活動などを計画していきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）と連携して支援を行う体制が十分にできていない。	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）とのネットワークが構築されていない。	自立支援協議会や個別の会議を通して、顔の見える関係性を築いていく必要がある。
2	HPやSNS等を活用し、情報をこどもや保護者に対して発信することが十分にできていない。	情報発信に対して、十分な時間とスキルを確保することができていない。	行事や活動の様子について、積極的に情報発信を行っていく必要がある。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 地域総合支援センター どんぐり河内 (児童発達支援)

公表日 令和8年 2月 28日

利用児童数 2名

回収数 2件

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2	0	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	2	0	0	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2	0	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1	0	0	1		児童発達支援計画の同意を得る際に、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」について丁寧に説明を行っていききたいと思います。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2	0	0	0		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	0	1	0	1		療育活動の中で、地域の市立図書館や公園に行き、地域の児童と触れ合う機会を設定しています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	0	0	1		年に2回、ペアレントプログラムを実施し、保護者にお知らせ文書にて案内を行っています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	2	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	2	0	0		保護者懇談会やふれあい教室を実施し、保護者同士で交流する機会を設定しています。きょうだい同士で交流する機会が設けられていないため、ふれあい教室の日程や内容を見直していきたいと思います。
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2	0	0	0			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1	0	0	1		毎月の行事予定表をお知らせ文書とともに配布し、行事等の様子を法人のHPに掲載しています。保護者への周知について、検討を行っています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1	1	0	0		各マニュアルを策定し、定期的に訓練を行っています。保護者への周知・説明の方法について検討を行っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2	0	0	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1	0	0	1		策定した安全計画概要版を保護者に配布し、周知を図っていますが、子どもも保護者も安心して利用できる事業所を目指して、継続して取り組んでいきたいと思っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1	0	0	1		事故等が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思います。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	2	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	2	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	2	0	0	0		

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名	地域総合支援センターどんぐり河内（児童発達支援）			公表日	令和8年 2月28日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	利用定員に対し、デイルームや遊戯室など十分なスペースを確保している。園庭も広く、充実した外活動を行うことができている。	環境は恵まれており、今後も活用を促進していきたい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2	国の基準に沿った職員配置がなされている。ほぼマンツーマンで支援することができている。	夏休みや冬休み等は、放課後等デイサービスを利用している児童とともに過ごすため、個別の関わりが難しい場合がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	視覚的な支援を取り入れ、個々の特性に応じた配慮がされている。スロープが設置され、車椅子でも対応可能になっている。	雨天の場合は、送迎車に乗る際に濡れる可能性があるため、配慮を行っている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	基本的にはシンプルな空間に設定されており、特性に沿った落ち着いた環境にしている。感染症対策のため、毎日消毒を行っている。	手洗い場やトイレ等が未就学児の体格と合っていないところがあるため、台の設置等に対応している。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	用途に応じて、個別訓練室、遊戯室、カムダウン室を使用することができる環境になっている。	夏休みや冬休み等は、放課後等デイサービスを利用している児童とともに過ごすため、個別に使用することが難しい場合がある。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	毎月の事業会議及び各事業所でのミーティングを行っている。毎月目標を設定し、振り返りを行っている。	全ての職員が参画できるよう工夫しているが、勤務時間により参加できない場合は、文書等により引継ぎを行っている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	保護者向け評価表からの意見や保護者等の意向を受けて、業務改善につなげている。	保護者の意向等を把握する機会を増やすことで、サービスの向上を目指していきたい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	毎日ミーティングを行い、職員の意見等を把握している。ヒヤリハット事例は、改善策を検討し、早急に対応している。	業務改善が継続して実践できているか適時の確認が必要である。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0	第三者による外部評価を受けており、評価結果を業務改善につなげている。	今後も積極的に第三者による外部評価を受け、業務改善を図っていく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	障害特性の理解、虐待防止、身体拘束、人権研修、感染症対策などの研修を行っている。	全職員が一斉に研修を受けることが難しく、一部の職員が視聴になることがある。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	支援プログラムを作成し、ホームページや事業所玄関にて公表している。	支援プログラムの公表について、保護者に向けた周知を図っていく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	児童発達支援計画は、児童や保護者の意向を確認し、日々の支援の中で感じるニーズや課題に沿って作成している。	児童の意向も計画に反映する視点を今後も大切にしていきたい。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	児童発達支援計画は、支援に従事する保育士や児童指導員からの情報を共有し、意見交換した上で作成している。	児童の発達段階に応じた必要な支援を基に児童発達支援計画の検討を行っているが、児童の最善の利益についても意識を高めていきたい。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	児童発達支援計画の写しを配布し、職員間で共有している。計画に沿った支援を実施し、記録に残している。	児童発達支援計画の共有と実践について、適時確認し、計画の見直しにつなげていきたい。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	活動の様子や特記事項は記録を行い、アセスメントに活かしている。	事業所独自のアセスメントシートを使用しているが、個別の課題に対応したアセスメントツールについて、導入の検討が必要である。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	児童発達支援計画は、国の基準に沿った項目を設定しており、具体的な支援内容を記載して作成している。	児童発達支援計画の作成について、スーパーバイズを受けながら、精度を上げていく必要がある。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	職員間でアイデアを出し合いながら、ご利用児に即した活動プログラムになるよう立案している。	活動の充実に向けて、他事業所や専門職から幅広く情報収集に努めていきたい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	個別のニーズや発達段階に応じて、活動プログラムを組み立てており、内容が固定化しないよう工夫している。	アセスメント力を強化し、より個別のニーズや発達段階に即した活動プログラムを設定することができるよう研鑽に努めていきたい。

19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	児童発達支援計画の中で、個別のニーズや課題に対する支援として、個別活動と集団活動を組み合わせる内容を取り入れ、療育の中で実践している。	限られた時間内で個別活動と集団活動を充実させていくことが課題である。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	送迎手順や活動内容、児童の特記事項等を確認し、チームで連携して支援を行っている。	情報共有を徹底しながら、チームでミスを防ぐ意識を高め、児童や保護者の満足度向上につなげていきたい。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	支援終了後にミーティングを行い、振り返りや業務改善について話し合っている。	全職員が意見を出し合い、同じ方向性を共有することができるよう努めている。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	活動の様子や特記事項は記録を行い、支援の検証・改善につなげている。	記録に関して、要点を明瞭・簡潔に文書化する技術の習得が求められる。
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	国の基準に沿って、定期的に児童発達支援計画の見直しを行っている。	障害児相談支援事業所主催のモニタリング会議の定期的な開催に向けて、働きかけが必要である。
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	サービス担当者会議や関係機関との会議には、児童発達支援管理責任者が参加しており、都合がつかない場合は保育士も出席している。	今後も積極的に関係機関との会議への参画を行ってきたい。
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	障害福祉、保育、教育等の関係機関との連携を図り、支援を行っている。	地域の保健、医療との連携は十分ではなく、地域のネットワーク作りが必要と考えている。
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	保育園と並行利用をされている。送迎の際に保育園と支援内容等の情報共有を行っている。	今後も保育園との連携強化に努めていきたい。
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	就学時の移行の際は、支援学校教諭の見学を受け入れ、書面にて情報提供を行っている。	就学時にスムーズに移行することができるよう連携を図っていきたい。
28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	0	保護者の同意のもと、児童発達支援センターの職員やセラピスト等に動画を提供し、助言を受けている。	当事業所場でスーパーバイズや助言等を受ける機会が少なく、検討が必要である。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	2	地域の小学校の学校公開にご利用児と訪問したり、地域の図書館や公園等で他のこどもと活動する機会を提供している。	地域の『小さなおはなし会』に保育園の児童と一緒に参加したことがあり、今後も交流を深めることができるよう努めていきたい。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	連絡帳に活動内容や特記事項を記載し、保護者と共有している。送迎時や懇談会にて発達の状況や課題について話し合っている。	保護者との連携を強化し、共通理解を深めていきたい。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	年に2回、ペアレントプログラムを実施し、保護者にお知らせ文書にて案内をしている。	ペアレントプログラムの案内に体験者の声を取り入れ、保護者の参加を促進していきたい。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時に運営規程、利用者負担等について説明を行っている。運営規程に変更が生じた際は、お知らせ文書にて周知している。	保護者にお知らせ文書を配布しているが、質疑がないかの確認を丁寧に行っていく必要がある。
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	児童発達支援計画を作成する際には、保護者の意向を確認している。児童には、利用中に頑張りたいことを聞き取っている。	児童への意向の聞き取りが難しい面が課題としてある。
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	児童発達支援計画を示しながら説明を行い、同意を得ている。	保育園を利用している児童は、保護者と面談できる機会に説明をするようにしている。
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	保護者からの相談があった場合に、面談や助言等を行っている。	必要に応じて面談や助言等を行っており、定期的な機会が設けられていない。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	0	保護者懇談会やふれあい教室を実施し、保護者同士で交流する機会を設定している。	きょうだい同士で交流する機会が設けられていないため、ふれあい教室の日程を見直していきたい。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	公用携帯電話にて適時対応を行っている。相談や申入れがあった場合は、日程を調整して対応している。	面談に関しては、職員配置や活動内容によって迅速な対応が難しい場合があり、日程調整を依頼することがある。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	毎月の行事予定表をお知らせ文書とともに配布している。また、行事等の様子を法人のHPに掲載している。	全ての行事をHPに掲載できていないため、情報発信の強化を進めていく必要がある。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人情報に関する書類は、個別の連絡帳に入れて配布している。ケースファイルは施錠できる文書棚に保管している。	個人情報の取扱いには十分気をつけているが、人為的ミスが発生したケースもあるため、ダブルチェックする体制を整えている。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	連絡をする時間や内容に配慮し、適した手段を用いるよう配慮を行っている。	適切な配慮ができていたか、振り返りを行い、安心感のあるサービス提供に向けて、改善を図っていきたい。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0	行事に地域住民の方を招待している。地域住民の方の好意により、寄付物品をいただいている。	地域住民との交流が一時的で終わるのではなく、継続していけるよう努めていきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	各マニュアルを策定し、ファイルを事務室や玄関に保管している。	保護者へ各マニュアルの内容について周知ができるよう検討する。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	業務継続計画（BCP）を策定し、定期的に訓練を行っている。	有事の際に業務継続計画（BCP）を適切に運用することができるよう、平時から意識を高めていきたい。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0	契約の際に服薬やてんかん発作等について確認をしている。臨時の服薬に関しては、送迎時や連絡帳にて確認を行っている。	適時、服薬や予防接種、てんかん発作等の状況について確認をし、最新の情報の収集に努めていきたい。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	現在、食物アレルギーのある児童はいない。事業所で調理を実施する場合は、保護者に確認をしている。	食物アレルギーについて、保護者と情報共有を行いながら、安心してご利用できる事業所を目指していく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	安全計画を策定し、必要な研修や訓練を実施している。安全点検表を用いて、施設内外の安全管理を行っている。	全職員が安全計画への理解が深まるように定期的に周知していく必要がある。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	策定した安全計画を保護者に配布し、周知を図っている。	保護者にお知らせ文書を配布しているが、内容の質疑について確認する機会の設定を検討していく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	ヒヤリハットの防止策をチーム内で検証し、共有している。防止策が継続して実施されているか、適時振り返りを行っている。	日常にあるヒヤリハットの文書化に向けて、働きかけていきたい。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	年に1回、虐待防止の研修を実施するとともに、定期的に虐待防止チェックリストに基づき、検証を行っている。	職員間でコミュニケーションを図りながら、チーム支援を行い、不適切な支援につながらない環境設定を行っていく。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	現在、身体拘束を行っている児童はいない。身体拘束を行う場合は、身体拘束適正化委員会で諮り、子どもや保護者の同意を得た上で、児童発達支援計画に記載することになっている。	身体拘束について、研修をとおして、理解を深めていきたい。	